

シンポジウム

「移民国家ニッポンー多民族社会への問題点を探る」

実施報告書



開催日 平成20年1月19日（土） 午後1時30分～5時

会場 大阪産業創造館 イベントホール

主催： 行政書士入管手続研究会

後援： 大阪府 大阪市
大阪商工会議所 （財）大阪国際交流センター 大阪府行政書士会

□ 開催の趣旨

いま、国境を越えた人の移動が地球規模で拡大しています。同時に、わが国は人口減少時代を迎え少子高齢化問題に対する議論が活発に行われています。産業界からは「労働力としての外国人の受け入れ」について各種の提言も発表されていますが、私たち行政書士入管手続研究会ではこれからの課題として「移民」に着目しました。

行政書士は外国人の入国・在留手続の専門家として、日本で暮らす外国人が直面する様々な問題に関わりその解決に取り組んでいます。日々の業務を通じて現行の外国人政策の問題点や入管行政のあり方への疑問を感じることも数多く経験してきました。

そこで、このような問題意識を踏まえ、元東京入国管理局長の坂中英徳氏をお迎えして今後の外国人政策を考える上で避けて通ることのできない「移民受け入れの是非」とそれに関連する様々な問題について、市民のみなさんと語り合いたいと思います。

第1部 基調講演

講師：坂中英徳（外国人政策研究所長 元東京入国管理局長）



講師プロフィール

慶応義塾大学大学院法学研究科
卒業。1970年法務省入省。

入国在留課長、東京入国管理局長
などを歴任。

現在、外国人政策研究所長、脱北
帰国者支援機構代表。

著書：「出入国管理及び難民認定
法逐条解説」、「日本の外国人政策
の構想」（以上、日本加除出版）
など。

第2部 パネルディスカッション



・パネリスト

坂中英徳	(外国人政策研究所長 元東京入国管理局長)
泉井実香	(財)大阪国際交流センター情報企画課長代理
榎本行雄	行政書士・元規制改革会議専門委員
布 幸弘	(株)コーラル代表取締役
中野辰宏	行政書士

・コーディネーター

村井 豊	行政書士入管手続研究会会員
------	---------------

□ 総 括

今回のシンポジウムはこのテーマに関心を寄せる一般市民をはじめ企業、行政、国際交流団体の関係者、在住外国人など約150名の参加者を得て開催されました。

第1部の基調講演では、講師の坂中英徳氏から人口減少時代、少子高齢社会の到来に備えて1千万人規模の思い切った外国人移民受け入れが必要であるとの指摘がなされました。また、これに伴って定住外国人に対する教育や職業訓練の充実など人材育成型移民政策への転換が提言されました。

第2部のパネルディスカッションでは、各パネリストからそれぞれの立場や経験を踏まえてこれからの外国人受け入れをめぐる課題や問題点について、幅広く意見が出されました。留学生の就職や外国人雇用の問題に関連して、現行の在留資格制度や審査基準のあり方についても議論を深めました。

これらの議論を通じて、支援と共生の理念に基づいた新たな外国人受け入れ基本法の制定や外国人政策の一元化などが提言されました。また、今後は日系人など血統を重視した受け入れだけでなく、より幅広く意欲と能力を持った外国人の積極的な受け入れに道を開くべきとの指摘もありました。

さらにフロア参加者との質疑応答や意見交換も活発に行われ、会場全体としてこれからの外国人受け入れのあり方を深く掘り下げる有意義な機会になりました。

主催団体・行政書士入管手続研究会について

行政書士入管手続研究会は、国際業務における行政書士の社会的、経済的地位の向上を目的として、入管・帰化業務等に精通した行政書士をもって組織された任意団体です。

設立以来十数年を経過し、現在では入管制度、入管実務を中心とした研究活動を行うとともに、外国人のための無料相談会等ボランティア活動や提言活動にも力を入れています。

現在、京阪神を中心に約80名の会員を擁しています。

行政書士入管手続研究会 事務局

〒537-0013 大阪市東成区大今里南 3-1-1 川崎法務事務所内

TEL 06-6977-1501 FAX 020-4665-7887

HP <http://gnk.sakura.ne.jp/home.html>

MAIL office@kawasakihomu.com

